



大和川流域水害対策協議会を開催！！

～今年是全国初の土地利用規制、次年度にも全国初の民間の計画認定、補助の適用を協議会で確認！～

大和川流域（奈良県）は、特定都市河川浸水被害対策法改正後、全国で初めて特定都市河川の指定を受け、令和4年5月には流域水害対策計画を作成し、流域のあらゆる関係者が協働して流域の浸水被害軽減に取り組んでいます。

このたび、「流域治水」の推進に向け、流域水害対策計画の実施にかかる取り組み状況の共有や水害リスクをふまえた土地利用対策としての区域の指定について協議するため、『大和川流域水害対策協議会』を開催しました。

国からは大和川の整備の進捗状況の共有、奈良県からは今年全国で初めて指定された貯留機能保全区域などの土地利用対策や、民間事業者等による雨水貯留浸透施設の設置促進に向けた全国初となる雨水貯留浸透施設整備計画の認定と財政支援に関する説明を行いました。その後、流域市町村との意見交換を実施しました。

- 日時：令和7年1月28日(火)14:00～15:30
- 場所：奈良ロイヤルホテル 鳳凰の間（奈良県奈良市法華寺254-1）
- 内容：
 - ・流域水害対策計画の実施にかかる取り組み状況等の共有
 - ・土地利用対策（区域の指定）について
 - ・全国初！雨水貯留浸透施設整備計画の認定と財政支援
- 参加者：協議会構成員 39名、報道関係者 4名、一般傍聴者 4名



会議の様子



近畿地方整備局
長谷川局長



葛城市長



大和郡山市長



奈良県 山下知事



上牧町長



田原本町長

5 出席者からのご意見（大和川流域における雨水貯留浸透施設等の整備状況について）

- 👉 下流のために上流で経済性を考慮したため池による貯留を推進しているが、これからの大雨に対応していくためには、その地域にあった方法で貯めることが必要である。（葛城市長）
- 👉 町内では治水より利水のほうが関心が高いが、私自身の過去の災害経験を踏まえ、理解が得られやすい地域などから事業着手するなど工夫し、下流域のために上流域として貯める役目を果たすために、貯留施設の整備を進めていく。（上牧町長）
- 👉 貯留機能保全区域のインセンティブについて、固定資産税の減免では住民の協力を得るには不十分。営農の継続に関する支援などを国土交通本省へ要望しているところであり、奈良県独自の支援なども検討いただきたい。（田原本町長）
- 👉 大和郡山市では、雨水貯留タンクの設置への補助を20年以上続けている。タンク一つの貯留量は少ないが、多くの箇所を実施することで大きな効果を発揮する。流域全体でもこのような補助を拡大していきたい。併せて、流域全体で水を貯めるという意識醸成のための流域治水の取り組みをPRする必要がある（大和郡山市長）

【地域の皆さまのご協力のもと、浸水被害の拡大を抑制！】



大和郡山市で貯留機能保全区域を指定！

特定都市河川に指定されている大和川流域では「大和川流域水害対策計画」に基づき、大和川河川事務所や奈良県、25の関係市町で「被害対象を減少させるための対策」として、貯留機能保全区域の指定を進めています。

令和6年12月24日に大和郡山市番条地区において、地元住民をはじめとした地域の皆様のご協力のもと、市では全国で初めて（川西町、田原本町に続き全国で3例目）貯留機能保全区域の指定されました。それに伴い、大和郡山市長より地域の皆様に流域治水への協力に対する感謝の意を表して感謝状贈呈式が実施されました。



感謝状贈呈式の様子



細川事務所長より祝辞

- 日時：令和7年1月16日(木)14:00～
- 場所：大和郡山市役所 4階 大会議室（奈良県大和郡山市北郡山町248-4）
- 参加者：大和郡山市 市長 上田清氏
奈良県県土マネジメント部 部長 安井広之氏
大和郡山市番条町自治会 会長 澤田忠匡氏ほか

参加者の声

大和郡山市長

「市では全国初となる貯留機能保全区域の指定にご協力いただき誠に感謝。市としても貯水タンクの設置推進など、水を貯めるための施策を進めるとともに、流域全体で水を貯めていくことの重要性を発信していきたい。」

地元自治会長

「今回の区域指定で浸水被害の軽減に貢献できればと思っている。昨年より制度について丁寧に説明いただいた国、県、市には改めて感謝したい。」

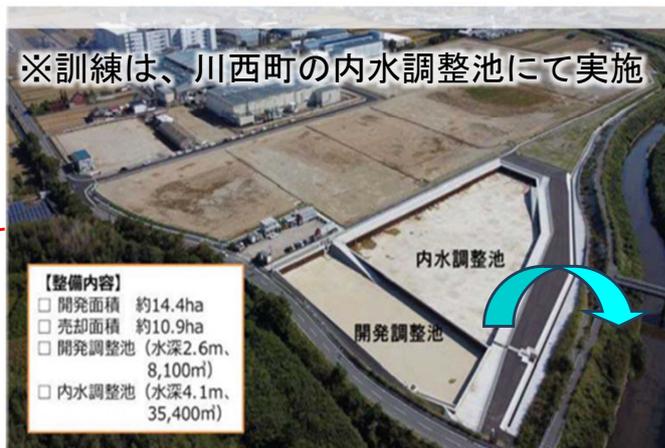
【災害が発生した時の準備のために】



貯留機能保全区域における排水支援！

奈良県川西町にて川西町長をはじめ町職員の方々に対し、排水ポンプ車による実排水訓練を実施し、排水能力や操作状況を紹介しました。

併せて、貯留機能保全区域（川西町唐院地区）から効率的に排水することを念頭に、排水ポンプ車等の運行ルートや配置箇所などを確認しました。



排水作業準備計画の説明



排水の様子



- ・実施日時 令和6年12月23日
- ・実施場所 川西町保田地先 内水調整池
- ・参加人数 15名（川西町長及び町職員等）
- ・主な内容 排水ポンプ車・排水作業準備計画の説明
内水調整池から飛鳥川への排水訓練

参加者の声

- ・実際の排水能力を見て、非常時には大きく期待できると思った。
- ・訓練することによって、排水作業準備計画のイメージが明確になった。

大和川河川事務所の事業や取り組み状況をお知らせします

保田遊水地の上面利用に関する協定を締結！！



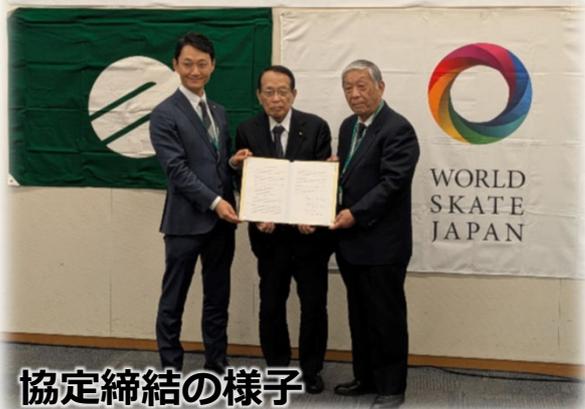
保田遊水地の完成イメージ図

大和川河川事務所が整備している保田遊水地（奈良県川西町）の平時利用において、上面をインラインスピードスケートをはじめとしたローラースポーツ等を楽しめる場として活用するオープン化利用を進めています。全国初の国際規格に準拠したトラックを核とし、地域振興に資する施設として、川西町とワールドスケートジャパンが連携協定を締結しました。

保田遊水地上部利用に関する連携協定締結式

(仮)かわにしアーバンスポーツパーク

奈良県川西町 × (一社)ワールドスケートジャパン



協定締結の様子



平沢会長挨拶



小澤町長挨拶

- 日時：令和6年12月16日(月)15:00～16:00
- 場所：衆議院第一議員会館（東京都千代田区永田町2丁目2番1号）
- 参加者：奈良県川西町長 小澤晃広氏
ワールドスケートジャパン会長 平沢勝栄氏
奈良県ローラースポーツ連盟会長 西口信悟氏（ほか）

出席者のお声

- 川西町とワールドスケートジャパンで協力しながら、多くの方が訪れる施設にしたい。
- 本施設がローラースポーツの普及・発展のみならず、子供たちの健全な成長にもつながることを期待している。
- 国際規格のトラックが国内に無く、海外との施設の差を感じていた。国際大会の開催なども含めて、本施設が競技者の夢に挑戦するきっかけになってほしい。